組合員のみなさんに贈る

辞典の〈語学辞典編〉選び方・使い方

ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、もう教科書・参考書は揃いましたか。語学の授業や学習にとって辞典は欠かせないものです。いい辞典を選ばねばなりません。生協書籍部では先輩たちによって評価を得た各分野の優良辞典を全て品揃えしています。

このリーフレットは、皆さんが辞典を購入する際の参考にしていただくため、専門の各大学先生方にアドバイスをいただいたものです。

尚、新学期の辞典販売は、全国の大学生協の連帯の力をもとに共同仕入を行ない、特別の割引を実現させました。特売期間中にお求め下さい。

（主要辞典一覧 — 7･8頁参照）

京都大学・同志社大学・立命館大学・龍谷大学・京都府立大学・京都府立医大・
京都工芸繊維大学・京都教育大学

—各生協書籍部—

辞典を選ぶにあたって

京都大学人文科学研究所教授　多　田　道太郎

辞書は知的活動の手足である。見知らぬ世界にわけいって行くとき，頑強な手足をもたないと道を切りひらいていくことはできない。

私の机上には，十冊ほどの小辞典が並んでいる。小辞典は知的活動の「指」みたいなものだ。中辞典が「手」大辞典が「足」とすれば，これは指みたいなものである。きれいに並んだ十本の指のように，鍵盤の上を走ってくれれば言うことはない。

十本の指のアナロジーで，私の机上には，左に五冊，右に五冊の小辞典がおいてある。真んなかにはラジカセがあり，それを左と右から挟むような恰好で小辞典がある。左手用の小辞典と右手用の小辞典である。

ふつう，日常の生活では右手のほうをよく使う。しかし机上の労働では，右手はたいていふさがっている。ペンを持っている。左手のほうが，すっと辞書に伸びてゆく。というわけで，左手のさきに，いちばんよく使う小辞典がおいてある。

単語で頻度数ということを言う。頻度数の高いものほど，ことばは使いやすくなっている。たとえば綴字がみじかくなっている。辞典も同じことだ。使いなれると，自然，使いやすくなっている。もっとも，どの辞典が使いいいか，手になじむか，目を疲れさせないか，心を悲しませることがないか――，ということは，じつは長年の経験がないとよくはわからないものだ。

四十年あまり，いろんな辞書を使ってきて，今は，だいたい，ならぶ順がきまった。参考までにあえて固有名詞であげると，「左手」側は，よくつかう「国語辞典」類である。ほんとうは日本語辞典と言ってほしいのだが，まあ，我慢して「国語辞典」と言っておこう。まず(1)「新明解国語辞典」（三省堂）。ついで(2)「岩波国語辞典・第三版」。(3)「岩波古語辞典」。(4)「新例解辞典」（ぎょうせい）。それからこれは漢字の辞典だが，(5)「角川新字源」。いずれも，ながく愛用したものばかりである。

とりわけ大事なのは，例文のついた国語辞典である。日本語ぐらい――と学生諸君は考えているようだ。これが大きな心得ちがいである。どういう日本語をどう使うか，これが学問のすべての基礎になければならない。外国語，外国文献だけに頼って学問をきずくのは，砂上楼閣である。砂上にたわむれてきたようなものだ――ということを，多くは大学卒業時に気づく。卒業時に気づくよりも，学に志したときに気づいたほうがいい。少なくともそのほうが効果的である。

というわけで，例句つきの，例えば「新明解」をつよく推したい。学研から近ごろ，例文つきの国語大辞典が出たが，これは文例が文学的にすぎるのと，大きすぎるので，推すのに，ちょっとためらいを感じる。(4)は目だたない字引きだが，重宝である。これをしょっちゅうひくのが，文章上達のこつである。

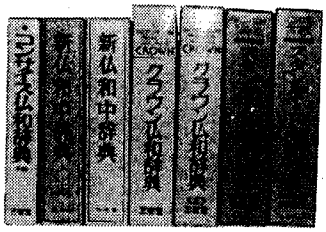
右手には，外国語の辞書がおいてある。(1)「コンサイス英和・机上版」。(2)「クラウン仏和」。(3)「スタンダード仏和」。(4)「現代独和」（三修社）。(5)「コンサイス外来語辞典」。

(1)はサイズがほかのと合うのがいい。学習辞典としては研究社の「新英和中辞典」のほうがいい，使いやいと思うが，私のカテゴリーでは中辞典に入ってしまう。(2)は，私自身の編著なので言いにくいが，ともかく例文の多い，例文のいいのを基準に辞典をえらんだほうがいいと思う。

受験時代には，単語数の多さを競いがちである。一万おぼえればA大突破，二万できればB大合格――というのは，単細胞むきのキャッチフレーズである。こういう頭で，五万よりも十万，十万よりも十五万・見出しの多いほうが「いい」字引きだと思われてはたまらない。例文が大事，コンテクストが第一――ということを，まず，頭のどこかにおいておいてほしい。

以上は私の「指」である。「手」や「足」には，たとえば斉藤の和英，諸橋の大漢和など，すばらしい辞書がある。しかし，まず「指」をきれいにうごかすことをおぼえてほしい。歩きだすのはそれからのことである。

フランス語の辞典を選ぶにあたって



辞書は自分でひくもの

同志社大学文学部助教授　山　路　竜　夫

新しく外国語を学ぼうとするとき，新鮮な一世界がひらけてきそうな期待感とともに，一抹の中途挫折の不安を覚えるのは誰しものこと。だが，始めて手にした昆虫図鑑や植物図鑑をひらいたときの子供の私たちには，こんな不安はいささかもなく，ただただ驚異の世界がひらけたはずだ。個々の絵に魅せられているうちに，やがて子供は，それらの配列の背後にはある秩序が横わっていることや，巻末の索引がこれらの絵といかに対応し，どんな便利を孕んでいるかを自分の力で発見する。そのとき新世界は彼のものになったのだ。

この不安のあるなしの差は大きい。秘密は子供の無償の好奇心にある。それが大人の実利的な世界に踏みこんだ人間では薄れてくる ——そこが問題なのだ，学生の。教室で子供っぽく見える人ほど語学の進歩が著しいのも，この基本的な好奇心の差ではないのか。

辞書そのものの選択については，教室で適切な助言がなされよう。だが一旦それを手に入れたら，教師から予習復習を急立てられるまえに，教科書の単語をじっくりと虚心に引いてみることだ。すると，一語を引けばその周辺に並ぶ数語までが様々な関連性をもつということ，語尾の形によって品詞や意味の差が分ること，また語は様々な意味を担いつつも，ある中心的な意味あるいはイメージをもっていて，決して日本語と一対一の対応などはしてくれないことなどが分ってこよう。そのときすでに諸君は，この外国語の世界を一人で歩きはじめている。教師の役目は，このおぼつかない歩みを真の一人立ちへと誘う杖でしかない。だからこそ，試験まじかに慌てて引きだしても無駄なのだ。

学問とは自ら学び問うこと。辞書も教師が引いてはくれぬ。あなたが引くのである。

フランス語の辞書の選び方・使い方

立命館大学理工学部助教授　中　村　泰　行

現在出版されている標準的な仏和辞典には，「新仏和中辞典」(白水社)，「スタンダード仏和辞典」(大修館書店)，「クラウン仏和辞典」(三省堂)等がありますが，新入生にとって最も親しみ易く，使い易いのは「クラウン仏和」でしょう。「クラウン仏和」はフランス語学習用の辞書として収録語彙の範囲や語義の説明・記述等に工夫がこらされ，初学者にとって非常に親切な辞書になっています。新入生諸君はまず，この辞書を十分に使いこなしてから，語彙数がもっと多く，語の説明がくわしい「新仏和」や「スタンダード仏和」に進めばいいと思います。

次に使い方について，若干の留意点を述べてみましょう。フランス語の動詞は英語と比べると複雑な活用変化をしますが，辞書にはその原型（不定法といいます）しか載っていません。文章中の変化している動詞はその不定法形でしか辞書では引けないわけです。ですから，動詞の活用変化の概略を早くのみ込むことが，フランス語の辞書を使いこなすコツの第一歩であり，フランス語習得の大きな第一歩でもあるわけです。又，フランス語の名詞には男性形と女性形の区別があり，これに応じて冠詞や形容詞が変化するので，名詞を引く場合には語義だけでなくこの性別も忘れずチェックすることが大事です。発音の方は英語と違ってかなり規則的ですから，辞書で一々確かめるより，発音の規則をマスターする方が早道です。

和仏辞典としては「新和仏辞典」(白水社)，「スタンダード和仏辞典」(大修館書店)，「新和仏小辞典」(白水社）があり，この春には「コンサイス和仏辞典」(三省堂)が出版されますが，これらは新入生には当面なくても差しつかえないでしょう。仏仏辞典としては「マトレ初級仏仏辞典」(駿河台出版社)，「ボルダス基本仏仏辞典」(同前)，「ラルース現代仏仏辞典」(同左）等が手に入り易いのですが，これらも「仏和辞典」を或る程度使いこなせるようになってから利用するといいでしょう。

中国語の辞典を選ぶにあたって

龍谷大学経営学部教授　有　田　忠　弘

中国では漢字に注音して，漢字教育の効果を高め，普通話（標準語）の普及を徹底し，さらに国際文化の交流にも資することができるように，民族形式を生かした独自な漢字の拼音（ローマ字表音）化を実施している。あわせて，使用する漢字についても思い切った簡略化を行なっている。したがって，中国語の辞典はみな，ヘディングを親漢字の発音のアルファベット・四声（漢字音のもつ四つの抑揚）順で配列し，その下にその漢字を頭字とする単語を並べ，発音が示してある（一部にはこれと逆に見出し語をすべてさきにローマ字で表記した辞典もある）。そんなわけで，漢字の発音のわからない場合，調べたい語句がすぐに発音引きできないという不便が伴なうが，その場合には，漢字の索引筆画(角)によって引けばよいし，なかには日本語の音読みで引けるように，配慮してある辞典もある。もちろん，中国語の初級・中級テキストには，みな漢字に拼音のルビが付してあるので，普通，テキストを学習するのに困難はない。実例を一つ挙げておこう。「これはノートです」を，中国語では次のように表記する。＜这是本子＝Zhe shi benzi＞。“这”の発音がわかっていたら，ヘッディングの“Zhe”の個所を引けば，「これ・この」という，指示代名詞であることが理解できる。もし“这”の発音が不明の場合は，三画“辶”で引いて“这”の所を見れば，その所在頁がわかる。“是”“本子”も同様にして引けばよい。一般の語学辞書にすべてを期待するのは無理である。専門用語などそれぞれの専門辞書に拠るのが確実である。辞書の凡例などよく読んで引き方に習熟し，大いに辞書の効用を引き出してもらいたい。

京都府立大学文学部助教授　松　村　　昂

中国語を学習するにあたっては，まず，漢字＝表意文字という先入観を払拭すること。たいへん音楽的な言語でもあるからだ。その第一歩は，三歳の童子のごとく，耳から口への練習をくりかえすこと。辞書の使用は急がなくてよい。

さて，中日辞典はいずれも，中国音をローマ字綴りで表記してＡＢＣ順に配列してあるから，それぞれの単語の発音・声調を知らないと，辞書は引けない。とまではいわないが，附録の「漢字索引」を引いてからという手間をかけねばならないことになる。現在のところ中日辞典の種類は少なく，ポケットサイズが3種，中型が1種あるだけ。

1. 倉石武四郎『岩波中国語辞典』は，最も評判の高いものだが，熟語を中心のＡＢＣ配列で，英和辞典体裁にならうから，初学者には扱いにくいかもしれない。
2. 香坂順一・太田辰夫『現代中日辞典』（光生館）
3. 鐘ケ江信光『中国語辞典』（大学書林）は，どちらも親文字を中心のＡＢＣ順配列で，熟語は漢和辞典方式をとっている。
4. 愛知大学編纂処編『中日大辞典』（燎原発売）は，やや大きめというだけだから初学者の使用にも堪えるが，熟語や用例は現在のところ最も豊富だから，読む訓練に入った段階では必須になる。

ついでに中国の古い詩文を読む人たちには，

5. 小川環樹・西田太一郎・赤塚忠『角川新字源』が，従来の部首・画引きの漢和辞典であるとともに現代中国音も附してあって，小さいわりにはゆきとどいている。

英語の辞典を選ぶにあたって

立命館大学産業社会学部教授　須　田　　稔

誰が何のためにどのように利用するかという編集方針のちがいから，さまざまな辞書がつくられている。

「豆単」は大学受験に備えるべき最低限必要な語いとその意味を集めたものであって，辞典とは言えないし，語法を知りたい人には，たとえば『正用法辞典』が，類義語間の意味のちがいを学ぶには『類義語活用辞典』が，語源を調べるためなら『語源小辞典』があるという具合だし，英語を通して英語を理解する力をつけようとする人には『ホーンビー』や『コンサイス』の英英辞典があり，一般教養程度の経済・貿易・時事・科学技術などの分野にはそれなりの英和辞典もある。

ところで，大学における一般教育としての英語教育は，読解や聴解の力と表現の力を伸ばすことのほか，英語使用民族の歴史や文化を体験しその精神構造の基底にふれることでわれわれの視野を広め認識を深めること，逆にわれわれの歴史や文化や生活の現実を英語で表現することによってわれわれを理解させることを主要な目的としている。

この学習目的のためには，語いの数，語義の説明，実際の用例が豊富な辞書が必要になる。まず，見出し語は6～10万語のものが望ましい。しかし，6万語の『新英和中辞典』は9万語の『新コンサイス』よりも用例は親切だし，同じ10万語の『カレッジクラウン』と旺文社『中辞典』とを比べると，前者は豊富な用例で，後者は新語や俗語の数でまさるという特徴がある。9万3千語の『エッセンシャル』よりも6万語の『岩波』を重宝する専門家の方が多いかもしれない。

きみの学習目標は何か，辞書の編集方針はどうか，を確かめ，いくつかの語を選んで数種を比較したあとで選択することだ。

英語履修と辞書の利用について

京都教育大学教授　岡　本　克　己

大学は学問研究の場であり，学識は他から一方的に与えられるものではなく，自ら求めるものである。そしてそれは思考や理解をともなわない学習によって得ることはできない。外国語（英語）の修得はややもすると九九の暗記のような機械的学習がすべてであると考えられがちである。（*e.g.*，sympathy＝「同情」）しかし，例えばこの単語が *sym*－ と －*pathy* という二つの部分からなることに気づき，更に既習の知識をもとに，また辞書を活用することによって，それぞれの意味を考え，問いただすという姿勢がある時，語の本来の意味を知り，この語が時によっては「同情」とか「共鳴」とかの意味に用いられることを完全に理解することができるのである。（例えば，*sym*pathy→ *sym*phony — *syn*clonize —*sym*metry, etc.より *sym*－ pref.「共」「同時」「似」「合」（with, together ; at the same time ; alike ; combined）といった意味をもち，－ *pathy* が「感情」(feeling)を意味することを“pathetic”や“pathos”から類推し，辞書によって確かめることができる。）sympathy＝「共感」。辞書は知的作業に不可欠のものであり，またそれに役立つものでなければならない。このように sympathy の意味が理解されれば，anti*pathy* が「反感」を意味することはあらためてたずねるまでもない。では *apathy* の意味は？　辞書をひくと，*a*－ pref. not , without とある。apathy が最近問題にされる「無感動」（lack of feeling）を意味するなら，*a*moral＝nonmoral は容易に理解しうることであり，理解の連鎖反応は更に拡がっていくことになる。

人文，社会，自然科学の各分野に設置されている授業科目の履修にあたって新入生諸君が学問に対する基本的姿勢をもって主体的に勉学することを望みたい。またこの機会に将来長く使用にたえる卓上辞典（例えば，研究社，新英和大辞典）を手許に置くことを勧めたい。

ドイツ・スペイン語の辞典を選ぶにあたって

自己のおかれた世界への新しいアプローチ

京都工芸繊維大学教授　ドイツ語　林　昭

大学に於ける外国語学習の目標は，無論読む，書く，話すの三つの能力の均しい養成にあるが，単なるおしゃべり風の安手な会話能力のような低い実用面に止まるものではない。外国語学習の効用の最たるものは，自国語への，更に言葉自体への新しい認識を得ること，同時に自己の置かれている世界への新しい異ったアプローチの仕方を知り得ることである。大学生諸君にはこの効用が充分に期待され得る筈であるが，そのためには，何よりもまづ古典や現代の優れた外国書への読解力がなくてはかなわぬことである。

初歩から始めるドイツ語学習も，当然正確にドイツ書を読みドイツ文を書けるようになることを目指すが，何といっても高度な内容のドイツ書を正確に多く読める能力の養成が肝心である。そして確かな読解力の養成には，本格的な独和辞書の使用が不可欠である。

辞書を使う場合，一つや二つの訳語を拾うだけでなく，語源や派生語，対応する英語，同意語や反対語等を調べる学習態度が常に必要であり，そのような学習に応え得て，更に収録語数や語義や用例の多い辞書となれば，小辞典では無理である。大辞典とまではいわぬが，高度な長期の使用に耐え得る充実した内容の中辞典を是非最初から使ってほしい。

中辞典の代表的なものとしては，まづ木村・相良の独和辞典（博友社）と三修社の現代独和辞典の二つをあげることができる。他の中辞典として，岩波の独和辞典，三省堂の独和新辞典，同学社の新修ドイツ語辞典，コンサイス独和辞典等があるが，いずれもそれぞれ特色をもったいい辞書である。

大辞典としては，博友社の大独和辞典，白水社の独和言林等があるが，これらを必要とする域にまで達してほしいものである。和独辞典については，教室での学習が始ってから，先生に教えてもらいたまえ。

一冊を選ぶとすれば

同志社大学経済学部教授　神　代　修

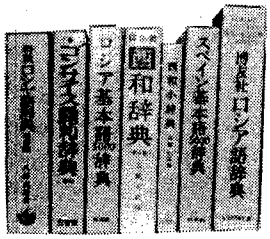
スペイン語の学習熱の高まりにともなって，昨今は辞書の種類もずいぶん多くなった。筆者の学生時代には，わずかに村岡玄編『西和辞典』だけだったのだから，まさに隔世の感がある。

しかし何種類かある西和辞典の中で，あえて一冊を選ぶとすれば，なんといっても高橋正武編『西和辞典』（白水社）が最適であろう。1958年に初版が出てから多くの版を重ねてきたが，昨年３月からは装いを新たにして増訂版が発行された。見出し語は２千追加されて７万余語になっているから，大学でのスペイン語学習にはまず不自由を感ずることはない。それに，近年学習者の関心がとみに高まっているラテンアメリカのスペイン語も数多く収録されているのが本書の強味である。

スペイン語により学習欲を示される諸君には，上の『西和辞典』のほか，宮城昇，エンリケ・コントレラス監修『和西辞典』（白水社）を，机上に置くことをすすめる。見出し語は３万２千余語であるが，派生語や複合語も数多く収録されているので，大学での西作文の学習には十分役立つ。

スペイン語の辞書の使い方については，あらためて説明するまでもない。他の外国語の辞書にくらべて，使用の容易さは比較にならないからである。その利点を活用しながら，たえず辞書をひもとく習慣を身につけるといいだろう。それが，ひいてはスペイン語の習得を速める道にも通ずるのだから。

ロシア語の辞典を選ぶにあたって



ロシア語の辞書

京都大学教養部教授 植 野 修 司

大学生が主として物を読むために用いるとすれば，ロシア語の辞書には，三種類ほどのものしかない。1. 岩波のロシア語辞典，2. 三省堂のコンサイス露和辞典，3. 博友社のロシア語辞典である。勿論，3つとも露和辞典である。

このうち，博友社のものには，見出し語の直後に発音符号がついている。これは，アメリカなどの第二次大戦後の流行に従ったようなものかと思われる。ロシア語の辞書に発音符号をつけることは，それほどの必須条件ではない。

これら3つの辞書の出来栄えにはそれほどの大差はない。と言うよりも，それぞれに幾らかの特長はあるものの，3つとも世界的水準を越えた立派な辞書である。

これらに満足できなければ，それぞれの分野におけるソ連科学アカデミーの露々辞典にたよるしかない。アメリカ，フランス，ドイツ，イギリスなどから出ているロシア語の辞典は，いずれも日本の上記の三つの辞書の水準を越えているとは思えない。

初歩からロシア語を学習する場合のこれら露和辞典の使用法については，中学生の頃，英語を学習し始めた時の英和辞典の使い方と，それほどの大差はない。ただ，ロシア語の場合，各品詞にわたって，語尾変化が多少複雑であるので，それぞれを見出し語の形に戻す力がなければ，辞書はほとんど活用できない。

定評のある……国語辞典・漢和辞典・英英辞典!!

辞典名	編著	出版社	定価	内容上の特徴
広辞苑 第二版補訂版	新村 出	岩波書店	¥4,800	古語・現代語を網羅。学術専門語から、社会事象に至るまで採録。国語辞典としてだけでなく、専門・百科事典の用も兼ねる。〈机上版〉¥9,400
国語辞典 第三版	西尾 実・岩淵悦太郎	岩波書店	¥1,380	5万9000語収録。語の基本的意味を解明、基礎語にくわしい。付録「漢字の読み方の手引」
新明解国語辞典 第二版	金田一京助	三省堂	¥1,500	7万余収録。基本語を重視。重要語は二段階で表示。
国語辞典 新版	久松潜一	角川書店	¥1,300	7万5000余収録。共通語教育のため、標準アクセントを明示。
新字源	小川環樹、他	角川書店	¥1,500	親字数一万。漢字学習に必要な六万余の熟語と豊富な出典・用例。
漢和中辞典	貝塚茂樹、他	角川書店	¥2,400	国字や国訓の解説も多く、人名・地名・君名なども豊富にとり入れる。
漢和大辞典		学研	¥3,800	親字11,000。熟語70,000。字義を品詞分類して字源から発展的に説明。
新英英辞典(並)		研究社	¥2,000	語数32,000。日本人の英語学習者向けにつくられたもの、初学者向。
現代英英辞典	A.S.Hornby	開拓社	¥2,100	見出し語5万。商業術語・科学用語の充実。文法事項の詳しい解説。
コンサイス・オックスフォード(COD)	J.B.Sykes	オックスフォードユニバーシティクモス	¥3,900	74,000語。現在使われている英語中心、米語・アメリカ語法をとり入れる。
ウエブスターニューワールド(NWDC)	D.B.Guralnik	ウイリアム・コリンズ	¥3,170	15万8000語。現在アメリカで使われていることばに焦点があてられている。特に米語を収録。
ロングマン・モダンイングリッシュ(LME)	D.O.Watson	ロングマン	¥3,750	80,000語。ことばの辞典に百科事典的性格を兼ねあわせたもの。用例も豊富。

※ ウエブスター・ランダムハウス・コリンズ・オックスフォード・ロングマン etc 。英々辞典の原書(洋書)を多数品揃えしています。“辞典セール”期間中をご利用下さい。

優良辞典一覧

辞典名	編著	出版社	定価	内容上の特徴
新英和大辞典	市河三喜・岩崎民平、他	研究社	¥6,000	語数 140,000語、普通の文献を読むのに必要な単語は全てそろっている。代表的な大英和。
ランダムハウス英和大辞典	編集委員会編	小学館	¥9,800	語数 270,000語、社会・経済・工業技術など諸分野の専門語も含めて語彙数は最大。百科辞典でもある。
現代英和辞典	岩崎民平	研究社	¥2,000	語数 122,000語。小型辞書であるが、現代の新聞・雑誌・一般書に出てくる用語は全てこれでまにあう。
英和辞典〈革装〉	土居光知、他	岩波書店	¥2,000	語数60,000語。英米の辞書websterなどにならい語義説明の順序が意義の歴史的変遷のあとをたどって記述されている。
英和中辞典	小川芳男、他	旺文社	¥2,000	語数10,000語。新語・国語・古語など多く、百科項目的なものも数多く収録されている。

辞典名	編著	出版社	定価	内容上の特徴
現代独和辞典	R.シンチンゲル・山本明、他	三修社	¥2,800	見出し語95,500。基本的な語の他、工業技術や経済関係を相当含む。〈革装〉
独和辞典	相良守峯	博友社	¥2,500	語数15万、〝キムラ・サガラドクワ〟で親しまれる。〈革装〉
独和辞典	小牧健夫・奥津彦重、他	岩波書店	¥1,900	ドイツの代表的な語学辞典・百科辞典を活用しながら編集。語源を記して語の正しい理解に資す。
新修ドイツ語辞典	矢儀・西田・土屋・根本、他	同学社	¥2,600	見出し語50,000。生きた現代ドイツ語を中心に選ぶ。理工学用語を増補。
コンサイス独和辞典	倉石五郎・国松孝二	三省堂	¥2,500	見出し語９万。文法的・機能的説明を多く添え、学習の便をはかる。

※ 現代独和辞典(三修社)はすでに定価値上りしています。京都地区のみ前年実績分旧定価で在庫確保しました。

辞典名	編著	出版社	定価	内容上の特徴
クラウン仏和辞典	多田道太郎・西川長夫、他	三省堂	¥2,800	現代フランス語を伝える新鮮な訳語、多彩で豊富な用例７万余。〈革装〉¥3,600
スタンダード仏和辞典	鈴木信太郎・朝倉季雄、他	大修館	¥2,700	見出し語76,000。使用頻度による基本語の指示。体系的な語義の分類。〈革装〉¥3,200
新仏和中辞典	井上源二郎・田島清	白水社	¥2,300	見出し語78,000。〈革装〉¥3,000 文法概要や、二色刷動詞変化一覧表付。
コンサイス仏和辞典	丸山順太郎・川本茂雄	三省堂	¥2,500	見出し語70,000。派生語はもとより、俗語的な表現も豊富に収録。

辞典名	編著	出版社	定価	内容上の特徴
中国語辞典	倉石武四郎	岩波書店	¥2,200	従来の漢字中心の〈字典〉から脱皮した〈ことばの辞典〉。
現代中日辞典 増訂版	香坂順一・太田辰夫	光生館	¥2,000	親文字一万、語彙約６万語を収録。 専門家まで役立つ内容を完備。
中日大辞典	愛知大学	燎原	¥4,200	政経時事・科学技術用語から、方言・成語・俗語・古語におよぶ、十三万余の豊富な内容。

辞典名	編著	出版社	定価	内容上の特徴
ロシア語辞典	八杉貞利	岩波書店	¥2,300	厳密な語義区分、豊富な用例、もっとも標準的な辞典。 巻末に科学技術用語・略語など約5000語、増補。
ロシア語辞典	木村彰一、他	博友社	¥3,500	現代ロシア語を主に約50,000語収録。 変化形もひける新しいロシア語辞典。
コンサイス露和辞典	井桁貞敏	三省堂	¥3,000	ロシア語のほとんど全ての成句を網羅。総見出し語97,000。 自然科学用語を特に充実。
西和辞典	高橋正武	白水社	¥2,800	見出し語は68,000。〈総皮装〉¥3,500
スペイン基本語辞典	高橋正武・瓜谷良平	白水社	¥1,600	基本語5000。豊富な文例を添えた実用的な語学辞典。